

文法テーマ：時 制

- (1) 今、食事中なので、後でかけ直します。
- (2) 彼は両親と故郷で暮らすために新しい家を建設中です。
- (3) 君のように英語を話せたら、もっといい仕事が見つかるのになあ。
- (4) 人は幸福を求めて生きるものだ。 *in the pursuit of～：～を求めて
- (5) 太陽は東から昇り、西に沈む。
- (6) 彼女は来年の今頃、東京の大学で勉強していることだろう。
- (7) この夏はヨーロッパを回る旅をするつもりです。
- (8) 今夜は京都の友人を訪ねることになっています。
- (9) 彼は若い頃5年ほど中国にいたが、中国語はさっぱりダメらしい。
- (10) 彼女のことをご存じなんですか？ どれくらいのお知り合いですか？

文法テーマ：不定詞

- (1) この川で子供が泳ぐのはとても危険だ。
- (2) 彼が携帯電話をバスに置き忘れたのは不注意だった。
- (3) 彼女は今年こそダイエットして減量したいと思っている。
- (4) 彼女は内心ではダイエットして減量することは不可能だと思っている。
- (5) 約束を破ることを恥ずかしいことだと感じないのですか。
- (6) 君の任務はこの仕事を1週間で終わることだ。
- (7) ダーウィンはキリンが食べ物を求めて長い首を進化させたと唱えた最初の人だった。
- (8) 今日は特にやることもないので、ショッピングモールにでも行こうかと思う。
- (9) 彼女はペットと住める家を探している。
- (10) 娘が久ぶりに帰ってきた。話すことがたくさんあって、一晩中語り明かした。

文法テーマ：分詞構文

- (1) 道路を渡っている時、その車の事故を目撃した。
- (2) 戦後の日本を振り返ると、社会の価値観の変わりようには驚くばかりである。
- (3) 遠くから見ると、その岩は人間の顔のように見えた。
- (4) 日本と比べると、米国は 25 倍の広さがある。
- (5) 彼はアメリカ生まれで、漢字で書くのが苦手だ。
- (6) 彼はソファに寝そべりながら、電話で話をしていた。
- (7) その子は宿題をすでに終わらせていたので、外で遊ぶことを許してもらえた。
- (8) 大阪人は笑いをコミュニケーションの手段として使ってきたので、笑いのセンスを持った人が多い。
- (9) 彼女は会議中、何を言っているのか分からず、ずっと黙っていた。
- (10) 長年会ってなくて、彼だと分からなかった。